

「やさしい日本語」とは？

単語を言い換えたり、少し工夫をすることで、分かりやすくしたものが「やさしい日本語」です。日本にはたくさんの外国人が暮らしていますが、その多くが簡単な日本語を

理解することができると言われています。優しい気持ちで易しい日本語を使うことで、

外国人だけでなく、小さな子どもやお年寄り、障害のある人とも

よりよいコミュニケーションを図ることができます。

（例）禁煙　　　→　たばこはすえません　　土足厳禁　→　くつをぬいでください

　　　可燃ごみ　→　やせるごみ　　　　　再利用　　→　くりしう

**１！**まずは話しかけてみましょう

　　外国語ができなくても大丈夫！

　　まずは「やさしい日本語」で話をしてみましょう。

**じゃあどうすればいいの？**

**２！**ルールなど、分からないことは

　　　どんどん教えてあげましょう

生活ルールが違うし、

関わるとトラブルになるのでは･･･

英語も中国語も話せないし･･･

違う国から来た人と話すのは、

ちょっとこわいな･･･

確かに、国によって言葉や習慣が違います。

でも、同じ住民として、地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。

外国人には若い人も多く、地域社会を盛り上げる大きな可能性があります。

　最近、様々な国籍の人が東京の各地域に住むようになりました。

　20年後の2040年には、都内の10人に1人が外国人になる、

　とも言われています。これからの地域においては、様々な人々が一緒に

　安心して生活できるようになることが必要であり、そのような社会を

　**「多文化共生」社会**と呼んでいます。

　※都内の在住外国人：57.7万人（総人口の約4%）、194の国と地域（令和2年1月1日現在）

**様々な人々がお互いに認め合い、**

**助け合う地域社会をつくりましょう！！**

**地域から多文化共生を推進しましょう**

**こんな風に思っていませんか？**